

★**高齢者雇用安定助成金**

高齢者が働きやすい環境の整備などに使いやすい助成金です。

【高齢者活用促進コース】

環境整備に要した費用の2/3(中小企業)

500万円上限 1年以上雇用60歳以上一人20万円を上限

例①高齢者を活用した異業種への新規参入

(外部委託を空きスペースを利用して自社で行う)

倉庫改修費用、異業種進出手続き費用、機器購入費

例②高齢者の負担軽減のための機械設備

(トラックの積載作業を軽減)

フォークリフト購入費

例③高齢者に優しい作業環境の整備

(視力の低下を補う、高温が発生する作業環境)

LED購入費、移動式照明器具購入費

スポットクーラー購入費

例④短時間勤務制度導入

(フルタイムを希望しない場合、再雇用制度見直し)

コンサルタント経費、管理システム開発費

【高齢者労働移動支援コース】

定年を控えた高齢者を他の企業へ雇い入れた会社に

一人 70万円支給(短時間労働者は40万円)

要件は

- ① 定年の1年前～定年までに定年予定者と労働契約を締結
- ② 職業紹介事業者の紹介
- ③ 雇い入れた労働者を65歳まで雇用する見込み
- ④ 移籍元と密接な関係にないこと

★**20代の会社員「うちはブラック企業」24%**

20代会社員の4人に1人は「うちの会社はブラック企業」と認識している・・・

連合系の調査機関「連合総研」は、パワーハラスメントや長時間労働など労働時間が劣悪な「ブラック企業」に関するアンケート調査で、20代社員の24%が勤め先が「ブラック企業」にあたると思っているとの結果がでた。若い社員ほど長時間労働などに厳しい目を向けていると連合総研は見ている。

勤め先が「ブラック企業」にあたると思うと答えた人の割合は全体の17%にのぼり、20代(24%)が最も高く、30代(21%)、40代(15%)と年代が高くなるに従って低くなった。

「過去1年間に職場で違法状態があったか?」の質問に対し、29%が「ある」と答え、具体的には「残業代の未払い」19%が最も多く「有給休暇を取れない」14%などが続いた。

★**看護師の夜勤長時間化進む**

病院や診療所で働く看護師の長時間勤務が深刻だ。実態調査によると、8時間超の夜勤を伴う「2交代制」を採用する病棟は29.4%に達した。このうち約6割では16時間以上の勤務が行われていた。「過度の長時間勤務は医療事故やミスを引きかねず、労働条件の改善が必要だ」と訴えている。

原因の一つとして「医療機器の高度化や重症患者の増加で職員が不足し、一人当たりの労働時間が長くなっている」ことが考えられる。2交代制で働く看護師の1ヶ月あたりの夜勤は平均4.1回で前年より0.09回増加。夜間も救急患者を受け入れる集中治療室(ICU)では月13回というケースもあった。勤務明けから次の勤務に入るまでの間隔は「8時間未満」との回答が55.8%に上り、十分に休息しないまま次の勤務に入ることが常態化している実態もうかがえる。

厚生労働省は2011年6月看護職員の負担を減らすため「十分な勤務間隔の確保」などを求める通知を都道府県を通じて医療機関に出したが、看護師の負担軽減策を引き続き検討するとしている。